

フレキシブルコンテナへの装入と空ける作業（液体）

適用範囲

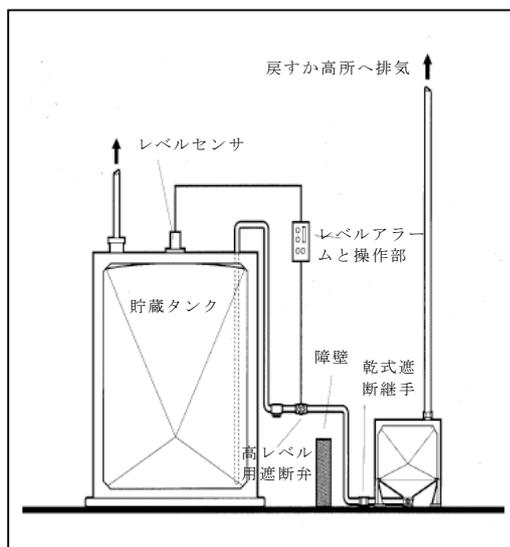
本作業指針シートは ILO 化学物質管理ツールキットの一部で、管理段階 3 が適用されるときに使用する。本作業指針シートは、フレキシブルコンテナに液体を装入するときの規範、空けるときにの規範、および化学物質ばく露を防止するために従わなければならない注意事項を示す。すべての規範と注意事項に従うことが重要である。化学物質によっては引火性または腐食性があるので、これらの危険性に対しても適切な管理が必要である。詳細は、各化学物質の安全上の注意事項を参照すること。本作業指針シートは作業者の健康を守るための最低限の基準を示すが、工程管理またはその他の危険管理に必要な基準より低い管理基準を正当化するために、本作業指針シートを使ってはならない。

作業場

- 関係者以外を作業場に入れないようにし、風下で誰も作業していないことを確認すること。

設計と装置

- フレキシブルコンテナ、ポンプ、ホースなどの設計・製作が扱う材料に適しているか確認すること。



- 漏れた液体が貯蔵タンクにこまないように、障壁を設けること。この障壁で、フレキシブルコンテナの容積の 25% 以上を溜められること。
- 貯蔵タンクに、装入管、レベルセンサ、および蒸気口を接続すること。接続は漏れ溜め内とする。
- フレキシブルコンテナに通気孔を設け、空気を貯蔵タンクに戻すか、扉、窓、吸気口、および通路から離れた安全な場所に排出するかすること。
- レベルセンサまたはロードセルを遮断弁に接続して、過装入を防ぐこと。
- 乾式遮断継手を使った底装入を推奨する。難しい場合でも、装入管をフレキシブルコンテナの底まで延ばすこと。

- フォークリフトの通り道を確保すること。
- 車両などが容器にぶつからないように障壁を設けること。
- 引火性の液体を扱う場合は、装置を適切に固定してアースを確実に取り、防爆構造の電気機器を使うこと。
- 装入速度は 1m/s 以下として、静電気の発生を抑えること。